令和7年度

静岡文化芸術大学 研究成果発表会

10/30 THU 令和7年

14:40 〜 18:10

静岡文化芸術大学 講堂

参加無料（入退出自由）

1 文化政策学科

四方田 雅史 教授

共同発表：デザイン学科 新妻 淳子 准教授

三遠南信の建築・産業遺産に関する横断的研究

遠州には優れた建築や産業遺産が点在し、中には三河や南信との繋がりにおいて生まれたものもある。その土地の風土を踏まえ、新妻が三遠南信の建築について、四方田が同地域の産業遺産について地域横断的な研究を推進する。具体的には、三遠南信の建築や産業遺産の現地調査をベースとするが、点在する遺産を歴史・文化・産業という横断的視点でも研究を推進し、三遠南信の優れた建築・産業遺産を社会に発信する基礎を作る。

2 デザイン学科

亀井 暁子 教授

共同発表：デザイン学科 丹羽 哲矢 准教授

半屋外公共空間における仮設物のデザインに関する研究 —浜松市中心市街地を対象として—

公共的な半屋外空間に滞留空間を創出する仮設的要素のデザインに関する実践的調査・研究。半屋外空間は、屋根的要素や柱等、場を規定する要素があり、それら要素との関係を考慮した、人と場をつなぐ仮設的要素のあり方について考察した。実在の場所における現地調査・計画・制作設置および運用状況調査を通じて、浜松市中心市街地における人々の滞在を支援し、賑わいの可視化に貢献することを目指した。

3 国際文化学科

西田 かほる 教授

川根本町殿岡家文書に見る近代 —地域社会における資源活用と人材育成のために—

川根本町の殿岡家が所蔵する古文書を調査し、目録を作成して史料の散逸を防ぐとともに、地域資源としての古文書の活用方法を探る。さらに地方名望家であった殿岡家の活動を解明することで、明治から戦前期にかけての川根本町と周辺地域の歴史を復元する。

4 デザイン学科

中川 晃 准教授

遠州地域の鉄道に学ぶ地域貢献と経営改善に関する研究

本研究は、地域鉄道グループとして全国首位の売上規模を誇る遠鉄グループが、地域密着型でありながら多角的事業展開と持続的成長を実現してきた背景にある経営構造と組織メカニズムを明らかにするものである。
特に、経営戦略・人事戦略・労使関係の視点から、多領域展開と地域特性の関係、企業間統合や地域共生の仕組みを実証的に分析し、理論的枠組みに基づきそのメカニズムを解明することを目的とする。

5 芸術文化学科

田中 裕二 准教授

浜松をひとつの結実点とする機械染色型紙の近代産業と美術における重要性の研究

地場産業史の視点から、浜松の繊維染色産業の発達と歴史は年表等で辿れるが、浜松の染色の「技法、デザイン、流通」についての学術的調査は、本研究申請者の研究チームが、本学特別研究費（平成29年度〜令和3年度）を得て実施した研究以前は、体系的にまとまったものがなく、史料も散逸した状態である。本研究は、浜松における型紙を、彫刻と染色の技法、デザイン、製品と流通の面から分析し明らかにすることに加え、いまだ保存・保管方法が確立していない型紙の修復方法を確立し、型紙を所蔵する国内外の大学・博物館施設等の指針となることを目指した。

6 デザイン学科

ブルベス・ジェローム 教授

コンピューターグラフィックスにおける「手の知恵」

近年の「拡張現実（AR）」「人工知能」（AI）等の急速な技術開発に伴い、3DCG業界、そして3DCG教育にも大きな変革が起きている。本研究でこの変革に伴う調査、実験、それに見合ったツール開発を行う。

司会・進行／奥中康人 文化・芸術研究センター長

オンラインで配信予定

※詳しくは大学HPをご覧ください

https://www.suac.ac.jp/

申し込み等は必要ありません。どなたでもご参加いただけます（入退出自由）。

access

［徒歩］JR浜松駅から徒歩15分

［バス］浜松駅バスターミナル
◆10番のりば遠鉄バス「文化芸術大学」下車

※駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮ください。

〔主催〕静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター

お問合せ 〒430-8533 浜松市中央区中央2-1-1 静岡文化芸術大学企画室
［TEL］053-457-6113 ［mail］kikaku@suac.ac.jp

SUAC